



せいねんかいがいきょうりよくたい
青年海外協力隊

やまもと れいお
山本 麗音

日本ではラグビーワールドカップが盛り上がっていますね。ナミビアも出場国なので、開会式の日には、同じ学校の先生仲間がプロジェクターでテレビの映像を教室の壁に映し、開会式の様子をみんなで一緒に見ました。子どもたちは和太鼓や歌舞伎など、初めて見る日本の文化に興味津々でした。住んでいる国や話す言葉が違ってても、スポーツのルールは世界共通です。いろいろな壁を越えてみんなが一緒にプレーできる「スポーツ」。なんだか素敵ですね。

ナミビアでもラグ!!

ラグラグビー部のみんな！元気に頑張っていますか？声を出してチームを盛り上げていますか？6年生は今のメンバーで部活ができるのもあと少しです。プレーももちろん大事ですが、「挨拶・返事・礼儀」、ラグで身に付けたカッコいい姿勢をしっかりと後輩たちに引き継いでください。遠いアフリカからいつもみんなのことを応援していますよ!!

体育でもラグラグビーが始まり、ワールドカップも開催され、ラグラグビーに興味を持つ人も増えているのではないのでしょうか。先生は体育も教えているので、ナミビアでもラグラグビーを始めました。ボールを前に投げたらダメだというルールが難しいようですが、大声で「ラグーッ!!」と叫び、みんな楽しくプレーしています。



今回はどこの国でしょう？

さて、前回に引き続き今回もアフリカの国を紹介したいと思います。

①





②



①は「マラウイ」という国でしたね。今回は②の鷲(ワシ)が目を引く国旗を持つ国です。今までにこの国旗を見たことがある人はいるかな？さて、この国とはいったい…？ はい、今回紹介するのは「ザンビア共和国」という国です。



青い矢印が先生の住むナミビア,そしてナミビアから南東へ進んだお隣の赤いところがザンビア共和国で,面積は日本の2倍の大きさがあります。ザンビアには世界三大瀑布の1つ,「ヴィクトリアフォールズ」というとても大きな滝があります。

 **第2カ国目・ザンビア** 

今回協力してくれるのは,ザンビアで小学校の先生として活動している『田原成隼』さんです。田原さんは,アフリカの生活を教科書やテレビからではなく,自分の目で見たいと思い,大学卒業後に青年海外協力隊に参加しました。



こんにちは,田原成隼です。

【出身】茨城県水戸市

【仕事】ザンビアのマノ小学校で算数を教えています。

【大人になる前においた方がいいこと】

興味のあることは真剣に取り組む!人の話はしっかり聞く!!

【みんなに一言】

海外には,日本では見ることで見ることができない景色,学べないこと,感じられないことがたくさんあります。自分が動けば景色は変わる!みなさんも大きくなったらぜひ海外に行ってみてください。

田原さんはザンビアの北部にある,ムフリラというところに住んでいます。それでは,生活の様子を見てみましょう。



毎日最初の授業の前はお祈りをします。田原さんは5年生に算数を教えていて,1クラスの人数は40人ちょっとです。



真ん中はサンショクウミワシという鳥で,ザンビアの国旗のモデルになっています。右はカメレオンの赤ちゃんだそうです。